

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	慢性硬膜下血腫術後患者における運転再開と社会参加の変化に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2023年1月～2026年12月の期間に当院で慢性硬膜下血腫手術を受けた患者
③概要	慢性硬膜下血腫（CSDH）は高齢者に多い疾患で、手術後に症状改善が得られる一方、社会復帰や生活再建が課題となります。特に自動車運転の再開は生活の質に直結しますが、医学的基準や適切な再開時期の指針はなく、再開後の安全性も不明です。本研究は、診療録の後方視的解析とアンケート調査を通じて、CSDH 術後患者の運転再開状況を明らかにし、リハビリ支援や社会復帰の必要性を示すことを目的としました。
④申請番号	E2025002601
⑤研究の目的・意義	慢性硬膜下血腫術後患者の運転再開の実態と関連因子を明らかにすることを目的とするため。
⑥研究期間	倫理審査委員会の承認日～2027年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている情報を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。この研究は新潟医療福祉大学院の修士論文作成のための学術研究として実施されます。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、就労状況、同居形態（同居・独居）、発症前の運転状況、既往歴（運転に影響しうる疾患：認知症、脳卒中、パーキンソン病、精神疾患、視覚障害、整形外科疾患等）、病変側、初発・再発、抗血小板薬・抗凝固薬の内服状況、術後合併症・術後せん妄の有無、在院日数、退院先（自宅・施設・転院）、入院時退院時 FIM（運動項目・認知項目・合計点数・平均日数）、神経心理学的検査（MMSE-J, TMT-J, FAB, ROCF 模写（copy））、郵送アンケートによる調査項目（運転再開の有無、再開時期、運転頻度、運転距離、運転目的、運転場面（夜間、悪天候、高速道路等）、運転に対する自信、不安、主観的安全評価、運転していない理由、自由記述による生活上の工夫や困難。
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院リハビリテーション技術科 作業療法士 椿智子
⑪お問い合わせ先	リハビリテーション技術科 電話：025-777-3200 Email: moko551963@gmail.com